壱岐南校区自治協議会だより

みなみかぜ

第91号

2013年(平成25年)6月15日発行

発　行　者：壱岐南校区自治協議会
発行責任者：本　庄　敏　雄
〒819-0032
福岡市西区戸切２-18-20
(壱岐南公民館内)☎811-0336

ー数字で見る壱岐南ー

《年代別・性別人口数》

年代	総数	男性	女性
0～14歳	1,286	670	616
15～64歳	5,919	2,840	3,079
65歳以上	3,192	1,385	1,807
合　計	10,397	4,895	5,502

ピクニックシティへ前進

第9回　金武・壱岐ブロックまちづくり協議会

「金武・壱岐ブロックまちづくり協議会」の第９回総会が、５月22日壱岐南公民館で開かれ、今年度の活動計画案が決定しました。出席した福岡市住宅都市局都市づくり推進部の上瀧今佐美部長は「住民の手によるまちづくりについて、市としてもしっかり応援していきます」とあいさつされました。昨年度の取り組みのなかから、吉武高木遺跡部会とコミュニティバス部会から特別報告がありました。

【吉武高木遺跡部会報告】

吉武高木遺跡は昭和59年に発掘された歴史的に大変貴重な遺跡です。当時は西日本新聞等でも大々的に紹介され、アサヒグラフにも取り上げられたほどでした。

遺跡として整備される予定でしたが、諸事情でこの30年間放置されてきました。やっと昨年度から一部の整備がはじまり、（＝本紙88号既報）８月末に芝生広場としてプレオープンの予定です。

また、福岡市がかねてから募集していた遺跡の愛称には、全国から４４４件の応募があり、５月28日に選考委員会が開催されるという報告を受けました。選考結果は６月中に市のホームページで発表されます。

どんな名前になるのか、楽しみですね。

【コミュニティバス部会】

２０１１年度に３ヶ月間社会実験を行ってから１年半が経過しました。この間、本格運行に向けて西鉄と数回に亘り協議を重ねてきましたが、事業収支が大幅に悪く、改善策に双方知恵を絞って今日に至っています。

福岡リハビリテーション病院・タケシマ整形外科・村上華林堂病院と、橋本駅を結ぶコースと野方南３区集会所から生松台に抜けるコース等の案を、西鉄・福岡市関係課とともに煮詰めています。

三病院ルートについてぜひ実現したいと、病院側との協議も行っており良い感触を得ています。また、生松台方面については、乗客をいかに増やすかが大きな課題です。

西鉄との協議（2012年11月）

議事終了後、環境デザイン機構の岡大輔さん、橋本駅長の松原啓治さんのミニ講演会が行われました。

【サンサンコンサート復活？】

松原駅長は、２００２年の開業時から２年間副駅長として勤務され、コンコースでのサンサンコンサートなどを手がけられました。今後駅広場の活用をはかり、サンサンコンサートを復活させたいと述べられました。

【ピクニックマップづくり】

まちづくり協議会の活動期としての最終年度となる今年は、ピクニックマップづくりに力を入れます。

金武・壱岐地区の、歴史・自然・おいしいもの等が一目でわかるような、お役立ちマップをめざしてプロジェクトチームを中心に作成します。

○西区をめざして
―子ども球技大会―

青少年育成会子ども会育成部会は、６月22日(土)に壱岐南小学校で「子ども球技大会」を行います。

ドッジボール・ソフトボールの２種目で行い、優勝したチームは７月21日(日)に行われる西区大会に出場します。

一つの子ども会だけでは人数が足りないので、複数の子ども会でチームを編成します。ドッジボールは３チーム、ソフトボールは２チームできました。

子どもたちは暑いなか、優勝をめざして頑張って練習しています。皆さんの応援よろしくお願いします。

✹壱岐南校区のシンボルマークをつくりましょう！／壱岐南自治協10周年✹

今年は自治協議会ができて10年目です。これを記念して壱岐南校区のシンボルマークを作成します。皆さんのアイデアで、素敵なシンボルマークをつくりましょう。応募要項は下記のとおりです。

《ねらい》
- **＊壱岐南校区の住民の絆を深める**
- **＊校区のイメージアップにつなげる**

《募集期間》
- **＊７月１日（月）～ 10月19日（土）**

《応募資格》
- **＊壱岐南校区自治会員**
  仕事や学校などの都合で期間中に在住していない自治会員も応募できます。

《応募条件》
- ＊本人が創作した**未発表の作品で１人１点**とします

《応募方法》
- ＊応募用紙
  - ①Ａ４の白紙に18cmの正方形枠を描き、その中に記入。
  - ②枠外に作品についてのコメントを書いてください。
  - ③枠外に名前・年齢・住所・連絡先・自治会名を記入してください
  - ④用紙は「公民館だより」７月１日号と一緒に全戸配布します。
  - ⑤自治協議会ブログ・公民館ブログに応募用紙を掲載しますので、ダウンロードしてご利用ください。
  - ⑥公民館にも置きます。
- ＊応募先
  - ①期日までに公民館の応募箱に投函してください。
  - ②遠隔地の方は郵送・E-mailでもメールでも受付ます。宛先は下記をご参照ください。

《選考》
- ＊選考委員会による一次審査、いきみなみ文化祭での投票による二次審査を経て、最終審査を行います。
- ＊最優秀賞１点、優秀賞２点を選考し、記念式典で表彰します。
  副賞があります。
- ＊結果は「みなみかぜ97号」「公民館だより12月号」で発表します。

《その他》
- ＊選考された作品は一部修正することもあります。
- ＊著作権は壱岐南校区自治協議会に帰属します。
- ＊作品は壱岐南校区旗・のぼり・校区内広報物等の自治協議会で作るものに使用します。

◆お問い合わせ・送り先
壱岐南校区自治協議会・壱岐南公民館
シンボルマーク係
住所　〒819-0032
福岡市西区戸切２－18-20
E-mail:ikiminami94@jcom.home.ne.jp

往還往来

最近驚いたことを二つ。まず昨年12月の衆議院議員選挙の投票所立会を引き受ける際の出来事▼11月14日の党首討論で解散総選挙のやりとり。そして２日後の16日に解散。ちょうどこの日は自治会長会の日。ここで選挙管理委員会から「投票立会人就任承諾書」が配られた▼その速さ、手際のよさにまさかの驚き。解散のその夜の予想もしない展開。と同時に、我が市役所職員の勤勉さにもびっくり▼二つ目は昨年12月に発表された内閣府調査の結果▼夫は外で働き、妻は家庭を守るべきーという考え方を支持する人の割合が１９９２年の調査開始以来はじめて増加に転じ、51・６％と半数をこえた。20歳代の急増ぶりが目立つとのこと▼この考え方は60歳代以上では当たり前だったのではないだろか。若者の保守化傾向なのか、はたまた「夫は外、妻は家庭」という生き方が手に入れにくいからこそのあこがれが示されたのか▼いずれにしても、自分の生き方を自分で決められる世の中になってほしいものだ。(香)

これからの主な行事

○６月16日(日)
ラブアースクリーンアップ
商店連合会花いっぱい運動
○６月22日(土)
子ども球技大会
壱岐南小学校
○７月６日(土)
男女共同参画の夕べ

＝人物往来＝

今年度自治協議会会計に就任された江浦沙織さんの「ひとことメッセージ」です。

新米ママです

自治協会計　江浦沙織

子育て真っ最中の新米ママです。子育てしながら地域の皆さんと交流を深められたら、と思っています。

まだ経理経験が浅く、まわりの方々にもご迷惑をかけることばかりかと思いますが、自分なりに頑張っていきたいと思います。

前号の「2013年度壱岐南校区自治協議会役員・委員名簿」に委員として**田尻慶久・老人クラブ連合会会長**の名前をもらしていました。

勧集原で文化祭　＝野方南2区・第3回 文化祭＝

「野方南2区第3回文化祭」を6月1日、2日の2日間、勧進原集会所で開き、今までより多い130人の来場者でにぎわいました。

今回は出展者延べ28人、作品は55点似も上りました、新たな出展者も3人いて、文化祭の輪がさらに広がっているなと感じました。

そのなかのひとりは「声をかけられて30数年前までやっていた書を出そうと思い、押し入れから道具を引っ張り出し、文字の意味を辞書でひきながら書きました」と話してくれました。

自治会役員を含め実行委員は「まだまだたくさんの皆さんに参加してほしい」「隠れた才能・作品を発掘していたら、〝シャドウボックス〟〝写真〟の二方を見つけた。次回は出展してもらうことになった。楽しみだ」と語っていました。

皆さんの自治会でも、文化祭をやってみませんか？

（野方南2区通信員　中嶋哲之助）

青パト講習会

6月4日校区防犯推進会（安河内勝則会長）主催の「青パト講習会」が壱岐南公民館で行われ、新規受講者16人を含む約60人が参加しました。

「青パト」は、自主防犯パトロールの通称です。壱岐南校区では2009年から自前の青パト＝青色回転灯防犯パトロールカーを運行しています。

また、安心・安全のまちづくりのために、各自治会が主体的に毎日子どもたちの登下校の見守り活動を続けています。

現在は13自治会が1週間交代で校区内をパトロールし、交通安全や防犯に努めています。

青色回転灯を動かすには講習を受け、登録証の交付を受けなければなりません。講習会はこのため開かれました。

西警察署生活安全課・防犯係の久積太巡査長から、運行の基本や自主防犯パトロールの実施方法などの説明を受け、出席者は熱心に聞きいっていました。特に「交通ルールを遵守すること」を強調され、交通事故や事件・事故に出会ったときの対処法なども話されました。

「青パト」隊の皆さんの活動によって安心・安全のまちづくりが進んでいますが、私たち自身も被害にあわないよう自衛策を考えましょう。

みちしるべ

幸せを創る人権意識

5月24日に大阪で、母子の遺体が発見されました。2月頃に餓死したとみられ、原因は夫のDVではないかと報道されています。最近、ストーカーやDV（ドメスティック・バイオレンス＝配偶者・恋人間の暴力）関連の事件が連日のようにニュースになっています。

公判中の長崎ストーカー殺人事件では、被害者の家族2人が殺されました。福岡市でもDV被害者の相談にのっていた友人が、夫に刺殺されました。最近では神奈川県で元夫に切りつけられた女性が重体におちいり、倉敷市では交際を断った男に胸を刺された女性が重傷を負っています。

昨年の内閣府の調査によると、既婚女性の3人に1人がDVを経験し、23人に1人が命の危険を感じるほどの暴力を受けているという結果が出ています。また、昨年度の警察へのストーカー相談件数は前年度の1.5倍近くに上ったということです。

DVとは、「殴る・蹴る」といった直接的な暴力だけでなく、罵声を浴びせたり無視したり（精神的暴力）、生活費を渡さない（経済的暴力）、外出や友人などとの付き合いをさせない（社会的暴力）、性交を無理強いする（性的暴力）などがあります。

こうした事件の背景に共通してあるのは「妻は夫に服従するもの、家事・子育ては女性の仕事」という価値観にしばられた性差別社会で、経済的・社会的に男性が優位で、攻撃性や暴力性が男らしさとして容認される社会と考えられています。

差別の大半がそうであるように、性差別も社会からの刷り込みにより、「当たり前」として私たちの意識を作っています。その結果、人生のかけがえのないパートナーと対等な関係が結べず、気付かないうちに相手を苦しめているとすれば、男性にとっても不幸なことではないでしょうか。

全日本柔道連盟現職理事がセクハラ（セクシュアルハラスメント）により辞職しましたが、人権意識の欠如により社会的地位を失う例も多数あります。

人権を大切にするということは「支配しない・排除しない」ことです。しっかりとした人権意識を持ち、暮らしに反映していくことで幸せな家庭や地域・社会を創っていきましょう。

（いきみなみ人権尊重推進協議会）

◆いきみなみ文壇◆

早乙女の　深き足跡　残ーけり

道の辺の　地蔵にむらり　竹の花

橋本ニュータウン　福田　萬三

随時、文芸作品を募集します。詩や俳句・川柳・短歌・五行詩などおよせください。

しめ切りは特にありません。公民館窓口にどうぞ。

THE・△座へおいでください

いきみなみ男女共同参画推進会議は、昨年まで行っていた「映画の夕べ」をやめて、「THE・△座（ザ・さんかくざ）～男女共同参画の夕べ」を行うことにしました。

毎年「映画の夕べ」を楽しみにしていた方には申し訳ありませんが、新しい「THE・△座」にご期待ください。

初年度となる今年は講談をお楽しみいただきます。ミニ講談体験も行います。

語りは、壱岐校区にお住まいの金印亭恵紅さん。（＝写真）

福岡出身の女性講談師・神田紅さんが主宰する福岡紅塾の生徒さんです。みな様のご来場をお待ちしています。

◎日時　7月6日（土）
　受付　18：30
　開会　19：00
◎会場　壱岐南公民館
◎講談　伊達家の鬼夫婦
◎入場　無料

子どものひろば

『戸切町内の紹介』

のどかな田畑が広がる戸切町内は、地下鉄七隈線の駅に近く、又、都市高速への乗り入れも便利な場所にあることから私はとても好きです。壱岐南小学校や村上華林堂病院も同じ町内であるし、老人ホームなどの施設も今後どんどん増えていくと思います。町内の子供会もみんなとってもパワフルです。

戸切、竹内　愛香

〝野方南4区　子ども会〟

野方南4区の子ども会では2ヶ月に1回、はいひん回収をします。げんかん先にでている新聞などをみんなで集めて、回収する場所につんでいきます。小さい子も、手伝ってくれて毎回楽しくやっています！　はいひん回収に来て、手伝ってくれた人には、ごほうびのおかしがもらえます。だから「もっと手伝おう」という気持ちになれます。他にも、夏休みのイベントやお別れ会など、みんなとふれあう機会がたくさんあります。これからも楽しんでいきたいです！

志田実友梨

編集後記

「棒洗い」「注連おろし」の山笠の準備がはじまった、というニュースがありました。

山笠はおよそ770年前、聖一国師が疫病を鎮めるため施餓鬼棚に乗って祈祷水を巻いたのがはじまり、とされているそうです。

博多の祭りは、どんたく・山笠・放生会と続きます。私たちの校区でも、これから「いきみないと祭り」「体育祭」「文化祭」と行事が予定されています。「いきみないと祭りは」すでに実行委員会が結成され、先月動きはじめています。

いろいろな行事をとおして交流を深め、地域の輪を広げていくことが「住みよいまち」につながっていきます。

そして「住みよいまち」をつくるのは、わたしたちです。

まちづくりの第一歩は「まず参加」です。皆さんもここからはじめてください。